

発表/まとめ・共有タイム

以下は、グループワークの成果をテーマ別に記したものです。みんなの居場所、創造や発信にかかわる提案を活かすため、実施設計に反映させる一方、使い方のしくみを継続的に検討していく必要があります。

観光・にぎわいづくり

- いろいろな団体がそれぞれ情報発信をしているので、ここに集約して発信できるといいのでは？
- 試作品やパッケージを作れる特産品開発の基地があるとよい。
- カウンターを利用して土日に特産品販売もできるかも。

文化・イベント

- 平日はパパママサロンや現役現役世代向け講演会、休日は虎舞の練習やワンドリンク付きシネマ！
- 外部空間や集いの庭を使ってイベントができると思う。
- ボランティアスタッフが交代でカフェを運営したらいいのでは？

子ども・学習支援

- 靴を脱いで遊べるキッズスペースと低学年向けの椅子やテーブルがあるといい。
- 中高生や大人が静かに勉強できる場所もほしい。
- 平日に気軽に遊びに来られる場所になるといい。

情報発信・メディア

- 入り口の近くに情報コーナーを作ってほしい。
- 町外への発信だけではなく、町民、町内で活動する団体の情報のやり取りができるといい。
- コミュニティFMは難しくても、インターネットサービスを利用して気軽な情報発信ができるかも。

防災・レジリエンス

- 集いの庭を災害ボランティアセンターやクーリングシェルターとして活用できるのでは。
- クマの出没情報などもリアルタイムで掲示してほしい。

全体

- 6:00-22:00まで開放すれば通勤・通学の時に待合として使えるのでは。
- 場があることで発揮される創造性や可能性を信じたい！



第3回ワークショップ（最終回・2025年10月28日開催）は …

[第1部] 実施設計の内容報告

これまでのご意見をふまえて進めてきた実施設計の内容について、町民スペースや外構部分を中心に報告し、新庁舎整備室とともにみなさまからのご質疑にもお答えします。

[第2部] 官民勉強会

—大阪府茨木市「オニくる」の運営者に聞く！

行政と市民がともにまちをつくる拠点へ。各所で高い評価を受けている大阪府茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」。その運営の一翼を担う茨木市市民文化部共創推進課の山脇知郎さんにオンラインレクチャーをしていただき、新庁舎の活かし方を具体的に考えます。

加美町新庁舎建設町民ワークショップ第2回レポート（2025年10月28日発行）

主催・発行：東北設計計画研究所・E.I.S設備計画設計共同企業体 共催：加美町 新庁舎整備室

新庁舎整備室HPは
こちらから▶



加美町新庁舎建設 町民ワークショップ

2025 第2回 レポート

2025年8月26日開催



新庁舎からはじめてみませんか —未来の加美町を考えよう2025—

町民ワークショップとは

新庁舎建設では、昨年度に計3回の町民ワークショップを開催して、町民のみなさまのご意見を基本設計に反映させてきました。今年度は町民スペースのより具体的な使い方や運営面における課題などについて話し合っています。

2025
ワークショップ

第1回	2025年	7月1日（火）
第2回	2025年	8月26日（火）
第3回	2025年	10月28日（火）

レクチャー「新庁舎の構成と町民スペース」（設計者代表東北設計計画研究所 千葉 昭典）

[要点1] 集い、使い、共創する居場所 —（仮称）集いの庭—

人口減少やオンライン化が進むなかで、新しい役場は手続きをしたり行政サービスを受けるだけでなく、地域自治・共創を進める場になるよう、多様な人々の居場所を設けます。

[要点2] 一体的にも使える目的別スペース

カフェに使える水回りや子育て・休憩用の小上がりなど、テーマ別に使いやすい工夫を検討しています。職員が一堂に会する行事や選挙での一体的利用にも対応できるようにします。

[要点3] 屋外を含めた連続的な利用

キッズルームと芝生広場、集いの庭での地域産品フェアなどイベント開催時の南側広場、災害対応時の水場や電源の確保などを総合的に考え、位置関係や空間規模を計画します。

[要点4] 時間ごとの利用と役場との連携・交流

時間ごとに異なる目的で使えるようにします。2階のワークスタジオや3階の創造会議室とも近くすることで、活動の際の役場との連携や交流しやすい構成とします。



第2回 本日のGOAL：現在の設計内容をもとに使い勝手を想像し、将来に渡っての使い方、使いやすくなるデザインを考える

1.レクチャー 2.グループワーク

2-1.町民スペースで行われる活動(曜日・時間帯)を想像する
2-2.空間の設えや使い方、もっとよくするアイデアを考える

3.発表・共有

日時 | 2025年8月26日(火) 19:00-
会場 | 中新田公民館 大ホール

グループワークで出されたご意見(抜粋)

第2回ワークショップでは、[暮らし・子育て]に関心のあるチーム、[観光・交流]に関心のあるチームに分かれて、設計チームが提案した町民スペースの仕様を見ながら、曜日や時間帯など、より具体的な活動を想定した、その空間の設えや使い方に対する意見を出し合いました。

2-1.町民スペースで行われる活動(曜日・時間帯)を想像する

	観光・交流チーム		子育て・生活チーム	
	平日	休日	平日	休日
午前	子ども食堂 役場利用	集いの庭で フェス	体験イベント 虎舞の公開練習	介護セミナー 認知症カフェ 赤ちゃん広場 夏休みの寺子屋
昼～午後	弁当を食べる 特産品販売 創造の間で 商品開発 生業の間で 食品の管理	日替わりで 食べ物提供 町外の人による 出店 ラジオの 公開収録	麻雀教室 講演会 パバママサロン 親子 ワークショップ	貸し会議室 簡易応接スペース
夕方	学生による活用		コンサート	自習スペース
夜	子ども食堂 音楽ライブ 選挙演説	チャレンジ ショップ お酒の提供	交流会 夜のイベント 婚活パーティー 映画上映	映画上映

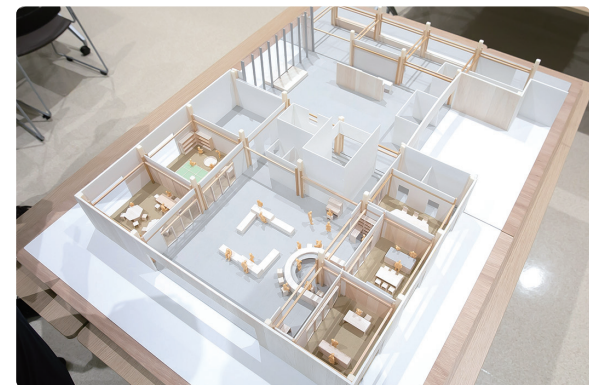
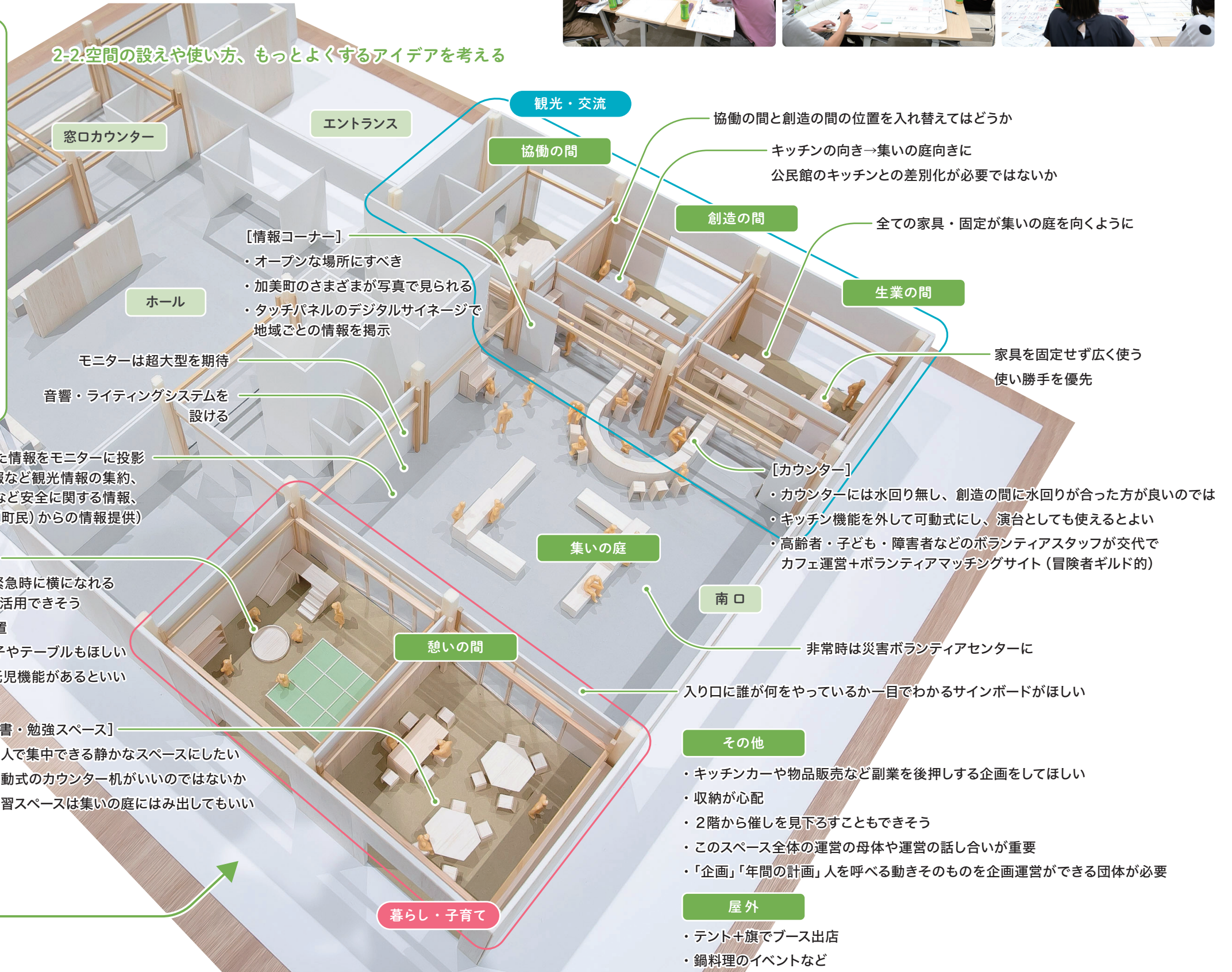
※ワークショップで出た意見を参考に、設計チームで使いやすい設えを整えていきます。
これはあくまで、この日にでた案です。実際にどんな活動が生まれるかは、今後の調整となります。引き続き多くの町民のみなさんのご参加をお待ちしています。

フォロー会が集約した情報をモニターに投影
(桜の開花情報など観光情報の集約、
クマの出没など安全に関する情報、
個人(町民)からの情報提供)

[キッズルーム]
・量を利用して緊急時に横になれる
スペースとして活用できそう
・手洗い場を設置
・子ども用の椅子やテーブルもほしい
・イベント時の託児機能があるといい

[読書・勉強スペース]
・個人で集中できる静かなスペースにしたい
・可動式のカウンター机がいいのではないかと
・学習スペースは集いの庭にはみ出してもいい

2-2.空間の設えや使い方、もっとよくするアイデアを考える



町民スペースの模型を眺めながらWSを行いました